まなびのめ 最新情報はWeb版で更新中です。
http://www.sasappa.co.jp/manabinome/

9 SEP

東北ルネサンス・プロジェクトin 仙台
赤坂憲雄対論「東北・知の系譜」「石原莞爾を語る」 9月13日(土)
講　師　佐高　信（作家）　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室　開場：16:30　開演：17:00
主催者　東北芸術工科大学　問合先 TEL 023-627-2168
URL　http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

仙台文学館ゼミナール2008
【日本の古典に親しむコース】『平家物語』を読む 9月19日(金) 10:30▶12:00
講　師　佐倉　由泰（東北大学准教授）　全5回　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室
主催者　仙台文学館　問合先 TEL 022-271-3020
募集人数　80人　応募締切　9月2日(火)必着

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台
小説家・ライター講座「新人が注意すべき5カ条」 9月20日(土)
講　師　盛田　隆二（作家）　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室　開場：16:30　開演：17:00
主催者　東北芸術工科大学　問合先 TEL 023-627-2168
URL　http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

第38回東北大学サイエンスカフェ「海洋生物毒の謎を探る～フグはなぜ毒をもつのか～」 9月26日(金) 18:00▶19:45
講　師　山下　まり（農学研究科 生物産業創成科学専攻）　無料　申込不要
場　所　せんだいメディアテーク　1F
主催者　東北大学広報課　問合先 TEL 022-217-4977
URL　http://cafe.tohoku.ac.jp/

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台
編集者講座「アンソロジストの仕事術」 9月27日(土)
講　師　東　雅夫（文芸評論家・『幽』編集長）　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室　開場：16:30　開演：17:00
主催者　東北芸術工科大学　問合先 TEL 023-627-2168
URL　http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

宮城高専　わくわく体験教室「ロボットを作って遊ぼう!」
～教育用レゴ・マインドストームを用いたロボット体験～ 9月28日(日)
無料　要申込
場　所　宮城高専　応募期間　9月1日～9月12日
主催者　宮城高専　問合先 TEL 022-381-0265
URL　http://www.miyagi-ct.ac.jp/　対象　小中学生の親子10組程

10 OCT

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台
赤坂憲雄対論「東北・知の系譜」「平野小剣を語る」 10月　4日(土)
講　師　宮崎　学（作家）　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室　開場：16:30　開演：17:00
主催者　東北芸術工科大学　問合先 TEL 023-627-2168
URL　http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台
編集者講座「書店営業の現場」 10月11日(土)
講　師　登尾　純一（平凡社営業部）　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室　開場：16:30　開演：17:00
主催者　東北芸術工科大学　問合先 TEL 023-627-2168
URL　http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

仙台文学館ゼミナール2008
【近代文学を読み解くコース】樋口一葉～日記を読む 10月12日(日) 13:30▶15:00
講　師　森　まゆみ（作家）　全3回　有料　要申込
場　所　仙台文学館　講習室
主催者　仙台文学館　問合先 TEL 022-271-3020
募集人数　80人　応募締切　9月19日(金)必着

戦争と庶民のくらし
「資料館の戦時資料について」 10月18日(土) 13:30～
講　師　仙台市歴史民俗資料館学芸員　有料　要申込
場　所　仙台市歴史民俗資料館　募集人数　30名
主催者　仙台市歴史民俗資料館　問合先 TEL 022-295-3956
URL　http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

《まなびのめはここに置いてあります》
仙台市内の、各文化施設、各市民センター、各大学
及び仙台周辺市町村の文化施設、公民館など

まなびのめ Web版

懸賞 まなびのめクイズ応募方法
ハガキ、FAX、E-mailのいずれかで、
①住所②氏名③年齢④職業⑤電話番号⑥クイズの答え2つ
⑦内容についての感想
正解者の中から抽選で3名様に図書カード1000円分をプレゼント
※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいた個人情報は連絡・発送作業にのみ使用いたします。
【応募締切】2008年8月20日 当日消印有効
※応募にはQ1とQ2両方の答えが必要です。ご注意ください。

次号テーマ：食を考える
10月中旬発行予定

応募先／問い合わせ先
〒984-0011　仙台市若林区六丁の目西町8番45号
笹氣出版印刷株式会社内「まなびのめ」編集部
FAX 022-288-5551
TEL 022-288-5555
(FAXは24時間受付　電話受付時間 10:00～16:00 土・日・祝日除く)
manabinome@sasappa.co.jp

まなびのめ
学術の世界と市民をつなぐ情報誌「まなびのめ」創刊号　／　発行日　2008年7月14日
企画・編集　笹氣出版印刷株式会社「まなびのめ」編集部　／　発行　笹氣出版印刷株式会社
〒984-0011　仙台市若林区六丁の目西町8番45号　Tel 022-288-5555　Fax 022-288-5551
E-mail: manabinome@sasappa.co.jp　Web版: http://www.sasappa.co.jp/manabinome/
まなびのめ編集部　只野俊裕　笹氣義幸　川又進　佐藤曜　佐藤文昭　伊藤智佳　遠藤洋子　小玉仁志　菅野保広
協力：株式会社市瀬　有限会社阿部正志製本

「気」になる「氣」…常用漢字の「気」を正字の「氣」と表記しています。漢字の世界は広く深くそれはそれは興味深い世界なのです。「氣」にしてみると新しい「まなびのめ」を見つけることができるかもしれません。

仙台発　学術の世界と市民をつなぐ情報誌　Web版も充実

まなびのめ

学びの庭におじゃまします　環境を考える

地域の「人と資源」で挑む地球温暖化問題

東北大学大学院文学研究科教授
専攻・環境社会学
長谷川　公一 先生

“母乳”から考えはじめた「健康と環境」

尚絅学院大学総合人間科学部生活環境学科教授
専攻・環境医学
北條　祥子 先生

- 創刊のことば
- これからの主な「学び」イベント
- 「学び」イベントに行ってきました
- 名著への旅

創刊
第1号
季刊誌2008.7

FREE ¥0
ご自由にお持ち帰り下さい。

この印刷物は適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。

FSC Mixed Sources Product group from well-managed forests and other controlled sources www.fsc.org Cert no. CU-COC-805208 © 1996 Forest Stewardship Council
PRINTED WITH SOY INK TM Trademark of American Soybean Association

創刊のことば

知る楽しみ、学ぶ喜び。学校教育にあっても社会にあっても、私たちの知的好奇心は止むことはありません。知の伝播を劇的に推進したグーテンベルクの金属活字版印刷術は、人類最高の発明と称賛されました。熟練の技芸は電氣・電子技術に受け継がれてメディア形成の一端を担っています。その末席に連なる弊社は学術の世界とは浅からぬ縁をいただき、その息吹を感じてきました。

私たちが生活するごく身近な場所で、時代の最先端をリードする魅力的な研究や生活に直結する取り組みが行われています。テレビやパソコンの画面を介してではなく、「学び」イベントの会場に足を運び、学術の世界を体感することをおすすめします。一方、市民からの発言が重要だと思います。一人一人の言葉の中に、学術の世界が正面から向き合わなければならない大切なテーマが宿っているかもしれません。

ここに、学術の世界と市民を双方向で結ぶ場を提供し、地域の皆様とともに歩みを進めたいと願い、学術の世界と市民をつなぐ情報誌「まなびのめ」紙版・Web版を発刊いたします。

2008年7月14日
学術の世界と市民をつなぐ情報誌「まなびのめ」編集部

まなびのめの色使い

襲色目（かさねのいろめ）
袷仕立て（あわせしたて）された衣服の表地と裏地の配色で平安貴族の雅な色。
四季折々の変化をその様相の比喩表現によって色彩として感じ取ってきた日本人が作り上げてきた配色法です。
創刊号：夏を表す「蝉の羽」（semi no ha）

これからの主な「学び」イベント

有料　無料　要申込　申込不要
▲このマークはイベント参加についての有料・無料または事前申込の有無について記しています。

ここに掲載する情報は、各研究・教育機関や施設が公開している情報を基に掲載していますので、当社の責任で開催を保障するものではありません。日時、内容に変更がある可能性がありますので、詳しくは各問合先へご確認ください。

開催中

企画展
「戦争と庶民のくらし」 6月21日(土)～11月　3日(月) 9:00▶16:45
有料　申込不要
場　所　仙台市歴史民俗資料館
主催者　仙台市歴史民俗資料館　問合先 TEL 022-295-3956
URL　http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/

東北歴史博物館平成20年度特別展
「古代北方世界に生きた人びと―交流と交易―」 6月28日(土)～8月24日(日) 9:30▶17:00
有料　申込不要
場　所　東北歴史博物館
主催者　東北歴史博物館他　問合先 TEL 022-368-0106
URL　http://www.thm.pref.miyagi.jp

世界遺産ナスカ地上絵の謎展 7月　4日(金)～8月31日(日) 10:00▶18:00
有料　申込不要
場　所　（財）斎藤報恩会　自然史博物館
主催者　世界遺産ナスカ地上絵の謎展実行委員会他　問合先 TEL 022-262-5506
URL　http://www.saitoho-on.com/page_6.html

7 JUL

～皇室侍医ベルツ博士の眼～
江戸と明治の華 7月18日(金)～8月31日(日) 9:00▶16:45
有料　申込不要
場　所　仙台市博物館　情報資料センター
主催者　仙台市博物館　問合先 TEL 022-225-3074
URL　http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

まなびのめ 最新情報はWeb版で更新中です。
http://www.sasappa.co.jp/manabinome/

7 JUL

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台 小説家・ライター講座「19世紀文学と現代小説の相違」
7月19日(土) 開場13:30 開講14:00 有料 要申込
講師 中条 省平（文芸評論家）
場所 仙台文学館 講習室
主催者 東北芸術工科大学 問合先 TEL 023-627-2168
URL http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

東北歴史博物館特別展関連特別講座「古代北方世界に生きた人びとの縄文時代」
7月20日(日) 13:30▶14:30 無料 要申込
講師 宮尾 亨（新潟県立歴史博物館 主任研究員）
場所 東北歴史博物館 1階研修室
主催者 東北歴史博物館他 問合先 TEL 022-368-0106
URL http://www.thm.pref.miyagi.jp

第36回東北大学サイエンスカフェ「手作り小型衛星SPRITE-SATで宇宙雷の謎に迫る」
7月25日(金) 18:00▶19:45 無料 申込不要
講師 高橋 幸弘（理学研究科 地球物理学専攻）
場所 せんだいメディアテーク 1F
主催者 東北大学広報課 問合先 TEL 022-217-4977
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

東北歴史博物館特別展関連講演会「中世以降の北方世界ーアイヌの歴史と文化ー」
7月27日(日) 13:30▶15:00 無料 申込不要
講師 榎森 進（東北学院大学教授）
場所 東北歴史博物館 3階講堂 定員 300名
主催者 東北歴史博物館他 問合先 TEL 022-368-0106
URL http://www.thm.pref.miyagi.jp

8 AUG

平成20年度みやぎ県民大学「ナノの世界を見る」「見えない光を操る」 全6回
8月 1日(金) 14:30▶16:30 無料 要申込
場所 東北大学多元物質科学研究所 募集人数 40名
主催者 宮城県教育委員会・東北大学多元物質科学研究所 問合先 TEL 022-217-5204
募集期間 平成20年7月25日(金)締切

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台 編集者講座「大学出版の可能性」
8月 2日(土) 開場16:30 開講17:00 有料 要申込
講師 岡村 隆（東海教育研究所常務、『望星』編集長）
場所 仙台市青年文化センター 研修室2
主催者 東北芸術工科大学 問合先 TEL 023-627-2168
URL http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

まちなか美術講座「パウル・クレー <<橋の傍らの三軒の家>>」
8月 9日(土) 13:00▶14:30 無料 申込不要
講師 後藤 文子（宮城県美術館 学芸員）
場所 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール
主催者 東北工業大学・宮城県美術館 問合先 TEL 022-221-2111
URL http://www.pref.miyagi.jp/bijyutu/museum/

江戸と明治の華 記念講演会2「ベルツの生きた明治時代の美術・工芸」
8月 9日(土) 13:30▶15:00 無料 要申込
講師 大熊 敏之（富山大学芸術文化学部准教授）
場所 仙台市博物館ホール 応募締切 ※7月25日消印有効
主催者 仙台市博物館 問合先 TEL 022-225-3074
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/

「戦争と庶民のくらし」解説と歴史探訪「榴ヶ岡周辺の戦争史跡を歩く」
8月16日(土)・17日(日) 11:00 14:00 有料 要申込
場所 仙台市歴史民俗資料館
主催者 仙台市歴史民俗資料館 問合先 TEL 022-295-3956
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/

第37回東北大学サイエンスカフェ「超臨界で地球をクリーニング～衣服からIC、文化財まで～」
8月22日(金) 18:00▶19:45 無料 申込不要
講師 猪股 宏（工学研究科 超臨界溶媒工学研究センター）
場所 せんだいメディアテーク 1F
主催者 東北大学広報課 問合先 TEL 022-217-4977
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

参加体験記 「学び」イベントに行ってきました

＜東北大学女性研究者交流フォーラム＞
■「企業、大学の女性の子育て支援について」
講演・パネルディスカッション
2008年5月24日（土） 仙台市国際センター3階中央会議室白橿

東北大学女性研者交流フォーラムに行ってきました。会場は、仙台市博物館の向かい側にある、仙台国際センター。とても立派な建物で、中に入っただけでなにかうきうきしてしまいました。

会場に入ると、受講者はやはり東北大の女性研究者の学生が多く、おおっという感じがありましたが、こんな機会も滅多にありません。

講演は、「企業、大学の女性の子育て支援について」。資生堂の初の女性副社長という、岩田さんのお話から始まりました。岩田さんは厚生省で雇用均等・児童家庭局長を務めた方で、ご自身は二人の娘さんを育てたそうです。

「子育ても、仕事も手を抜きたくない！！」と、自分の収入は全て子育てに使い、自分が居なくても子供が育つのに良い環境を、と、ありとあらゆる手段を使ったそうです。自身の過酷な子育て体験があったからこそ、資生堂は女性が働きやすい企業として邁進されてきたのでしょうね。

また、東北大学は、女性研究者の支援として、ベビーシッター費用の補助や、研究補助員の配置、保育室の完備などを行っているそうです。さすが、日本初の女子学生が誕生した東北大学！ 研究者も「大学に支援されている、頑張らなきゃ」と、研究の励みになるとのことでした。

私自身これからするであろう、仕事と子育ての両立ですが、女性研究者たちの「子連れでも学会に行きたい！」という研究と育児への熱心な姿に、とってもやる気と勇気が出てきました。

また、自分の会社ではどのような支援があるのかな、と考えるきっかけともなりました。

内容もさることながら、素敵な女性の方々の、お話しの仕方など、とても勉強になり見習いたいものだなぁ、と思いつつ帰路につきました。

（仙台市・会社員 K）

＜東北学院大学法学政治学研究所 第16回学術講演会＞
■「国連と人権―国連人権機構の改革：国連人権理事会」
宇都宮大学 今井 直 氏
2008年5月31日（土） 東北学院大学 押川記念ホール

私は「国連と人権」などと言われても新聞やニュースで報道されているなかで大した興味もなくさらっと流して見る記事でしかありませんでした。しかし、最近チベットの人権問題が北京オリンピックの聖火リレーを通じて全世界に向けて報道され、ミャンマーの人権問題もサイクロン被害の報道と共に問題視されており、最近の話題のニュースであった、ということと、大学の先生の講演が聴けるということで今回の講演会にぜひ足を運んでみようと思いました。

当日の講演会の内容ではやはりチベット、ミャンマーの問題が取り上げられていました。こういった国際的な問題は国連の人権会議でも議論されるそうです。しかもそれがインターネットの中継で誰でも見ることができるということに驚きました。

そして話題は「日本の人権」に変わっていきました。今回、この講演会にあたって今年の5月9日に行われた人権理事会日本審査の内容が大きく取り上げられていました。日本の審査には42カ国が発言し、その内容としては死刑執行の停止、従軍慰安婦問題の解決などがあったそうです。それを聴いてはっとしました。国際問題ばかりに目が行きがちですが、私たちの住む日本にも人権問題は山積みなのだということに氣付かされました。私自身、平和な国に住んでいるから自分とは関係のないことだと心の隅で思い、目を向けまいとしていたのかもしれません。

今回、この講演会を聴いて人権というのは他人事ではなく「私たち」のことであることを認識することができました。市民向けの講座で知識や教養を身につけることはとても有意義なことだと感じました。また、このような講演会があれば参加したいと思います。

（若林区・会社員 匿名希望）

＜発明王エジソン展 ～知られざる天才の秘密～＞
■ 講演会「天才エジソンを育てた母の教え」
米国特許弁護士・エジソン発明品収集家 ヘンリー幸田 氏
2008年5月25日（日） 東北歴史博物館

「天才とは1%の閃きと99%の汗である」

誰もが一回は聞いたことのある言葉ではないでしょうか。

私自身も聞いたことのあった発明王エジソンの言葉ですが、講演会を拝聴するまで、エジソンがどのような人物だったのか、まったく知りませんでした。

エジソンは幼少時、「なぜ空は青いの？」「1＋1はなぜ2になるの？」といった素朴で好奇心旺盛な質問を繰り返し先生にしていましたが、質問に学校の先生が答えられなく、エジソンを変人扱いしたそうです。「こんな学校にはいさせられない」そう考え、母ナンシーは自らエジソンの先生になることとし、エジソンを育てていきました。エジソンの素朴な「なぜ？」に対しては「じゃあ調べてみようか」と、二人で図鑑を眺めながら教育していったそうです。その教育の結果、エジソンは発明王となり、後世に語り継がれるほどの人物となりました。

子供の「なぜ？」を大人の判断で潰してしまうのは、子供の可能性・成長はもちろん、自らの成長をも妨げることになるかもしれない、そんなことをふと考えてしまう講演会でした。

（若林区・会社員 LIKU）

「参加体験記」募集します。
あなたも記者になりませんか？

まなびのめではイベント参加体験記を募集しております。

◎投稿内容
イベントタイトル
日時・会場
登場者（講師・演者等）
体験記（420字以内）
氏名（ペンネーム）、連絡先

◎投稿先
「まなびのめ」編集部
Webからも応募可

※掲載の可否は「まなびのめ」編集部にご一任いただきます。

第2回 名著への旅

「まちづくりの発想」
田村 明 著
岩波新書
（1987年12月21日 第1刷発行）

著者は横浜市の「みなとみらい21」を提案・推進し、成功させた人物で、ウィキペディアには「まちづくり」という言葉を全国に広めた人だと出ている。この方、並みの精神力ではない。

「まちづくり」の構造や思想、語り草となっている各地の実践例など、「まちづくり」に直接・間接に携わる人々にとっては、むろん好個の書である。また一方、この中で説かれている「シクミづくり」「シゴトづくり」「コトおこし」などは、一般企業に籍をおく者にとっても有益な示唆を与えてくれる。即ち、企画・提案とその実践・調整とはどういうものか、ということである。

横浜市において氏は、正式の都市計画手続きで既に決定されていた高速道路ルートを変更させることになる。と言ってしまえば簡単だが、これが各方面にどれ程の障害と軋轢を生ぜしめるものであるか。この間の経緯と「まちづくり」の要諦が「第七章 思想から実践へ」に語られている。全体の白眉であり圧巻である。

（曜）

これからの主な「学び」イベント

有料 無料 要申込 申込不要
▲このマークはイベント参加についての有料・無料または事前申込の有無について記しています。

8 AUG

東北大学文学研究科県民講座「県民のための文学サロン」「浦島物語」と『指輪物語』 全5回
8月23日(日) 14:00▶16:00 無料 要申込
場所 東北大学 文教大講義室
主催者 宮城県教育委員会・東北大学大学院文学研究科 問合先 TEL 022-795-6004
対象 18歳以上の県民 募集期間 6月9日～8月1日

平成20年度みやぎ県民大学「私たちの健康に欠かせない安全な食資源」 全5回
8月28日(木) 13:30▶15:30 無料 要申込
場所 東北大学農学部 第4講義室 （講義室の変更もあります）
主催者 宮城県教育委員会・東北大学大学院農学研究科 問合先 TEL 022-717-8609
対象 18歳以上の県民 募集人数 50人 募集期間 7月14日～8月15日

東北ルネサンス・プロジェクトin仙台 小説家・ライター講座「言葉と小説の関係」
8月30日(土) 有料 要申込
講師 小池 昌代（詩人・川端賞作家） 開場16:30 開講17:00
場所 仙台文学館 講習室
主催者 東北芸術工科大学 問合先 TEL 023-627-2168
URL http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

9 SEP

仙台文学館ゼミナール2008【近代文学を読み解くコース】宮沢賢治～星の童話を読む 全5回
9月 4日(木) 10:30▶12:00 有料 要申込
講師 佐藤 通雅（歌人、評論家）
場所 仙台文学館 講習室
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.lit.city.sendai.jp/ 応募締切 8月15日(金)必着

平成20年度みやぎ県民大学「口のしくみとその働き」「なぜ口や歯は大切か」 全4回
9月 5日(金) 14:00▶16:00 募集人数:50名 無料 要申込
場所 東北大学大学院歯学研究科 基礎研究棟（A棟）1階講義室
主催者 宮城県教育委員会・東北大学大学院歯学研究科 問合先 TEL 022-717-8248
対象 18歳以上の県民 募集期間 7月7日～8月29日

平成20年度みやぎ県民大学「童謡を歌う」 全4回
9月 6日(土) 13:00▶15:00 無料 要申込
講師 阿部 陽子（東北生活文化大学短期大学部講師）
場所 東北生活文化大学短期大学部 定員 40人
主催者 東北生活文化大学他 問合先 TEL 022-272-7513
対象 18歳以上の県民 募集期間 8月7日～8月27日

平成20年度みやぎ県民大学「仙台藩と盛岡藩の歴史ー『伊達治家記録』と『雑書』から知られることー」 全5回
9月11日(木) 13:30▶15:00 無料 要申込
講師 細井 計（東北福祉大学特任教授）
場所 東北福祉大学 定員 50人
主催者 宮城県教育委員会・東北福祉大学 問合先 TEL 022-301-1197
対象 一般県民 募集期間 8月28日～9月4日

最後の戦国武将 伊達政宗
9月12日(金)～11月3日(月) 9:00▶16:45 有料 申込不要
場所 仙台市博物館 情報資料センター
主催者 仙台市博物館 問合先 TEL 022-225-3074
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/

平成20年度みやぎ県民大学「流れを科学する」 全5回
9月12日(金) 18:00▶20:00 募集人数:50名 無料 要申込
場所 東北大学流体科学研究所 二号館5階大講義室
主催者 宮城県教育委員会・東北大学流体科学研究所 問合先 TEL 022-217-5302
対象 18歳以上の県民 募集期間 8月1日～8月22日

まちなか美術講座「小林正人 <<Unnamed #2>>」
9月13日(土) 13:00▶14:30 無料 申込不要
講師 和田 浩一（宮城県美術館 学芸員）
場所 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール 定員 60名
主催者 東北工業大学・宮城県美術館 問合先 TEL 022-221-2111
URL http://www.pref.miyagi.jp/bijyutu/museum/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

学びの庭におじゃまします

実は、私たち市民の身近なところで、様々な興味深い研究が進められています。その研究内容や経緯、研究者の横顔、「学び」に対する想いなどを、研究者ご本人に語っていただくコーナーです。今回ご登場いただく方は、切り口が多岐にわたる環境問題に「環境社会学」から鋭く迫る東北大学大学院文学研究科の長谷川公一先生です。

地域の「人と資源」で挑む地球温暖化問題

日本の伝統的自然観を研究に活かす

環境社会学は、1970年代半ばに米国で提唱されて始まった学問ですが、この分野で日本は今世界をリードしている国の一つです。それには理由があります。

69年にアポロ11号が月面着陸に成功したとき、不毛な天体である月に比べて地球が恵まれた星であることに、多くの人々が氣付かされました。「宇宙船地球号」という言葉が実感を持って語られるようになり、翌70年には地球環境について考える「アースデイ」の初めての大規模なイベントが開催されます。さらに72年にストックホルムで「国連人間環境会議」が開かれ、73年にオイルショックが世界を襲うと、環境問題は一部の人や地域だけのものではない人類全体にとって重要な問題なのだという認識が広まりました。

一方、日本は50年代後半から70年代にかけての高度経済成長期に、深刻な公害問題を経験します。その克服の過程で、社会学や経済学といったそれまで人間社会のみを対象としてきた学問も、人間が生きる環境を含めて考察する方向へと舵を切りました。先駆者である飯島伸子先生（故人）は68年に水俣病を題材とする修士論文を書かれましたが、これは公害を取り上げた世界初の社会学的研究だったと言えるでしょう。

日本で環境社会学会が設立されたのは92年ですが、実はそれ以前に公害研究の長い歴史があったのです。環境問題への関心の高まりとともに学会の会員数は増加し、現在では約700名、世界的に見ても最大の規模となっています。

滋賀県知事の嘉田由紀子さんは、長く琵琶湖の研究に携わってきた環境社会学者でもあります。彼女は琵琶湖と人間の関わりあいの歴史を調べ、上下水道が整備されて以後、水質汚染がむしろ急速に進んだことを明らかにしました。琵琶湖に注ぐ川の水を取って使っていた時代の方が人々は水の汚れに敏感で、上流と下流に暮らす人々の間で互いを思い合う氣風があったのです。

また、日本人には昔から排泄物を肥料として用いる知恵と技術がありました。当時世界一の人口を養っていた江戸の町が清潔に保たれていたのは、近郊の農地との間でリサイクルが機能していたからです。人間と自然をはっきりと区別する欧米の世界観とは違って、日本の伝統的な世界観は自然との共生を当然のこととして、環境的制約の中で生きることを受け入れてきました。日本の環境社会学研究が大きな成果を上げてきたのは、以上のような歴史と無関係ではないのです。

「正しく争う」ことが住みよい社会をつくる

私自身は、80年代に新幹線の騒音公害・建設問題に取り組むことでこの分野を専門とするようになりました。調査を進めるうちに、騒音問題は技術的問題である以上に、社会問題であるという思いを強くしました。国鉄側が官僚的であることによって紛争がこじれるケースが多かったのです。

当時の国鉄は「建設予定地をあらかじめ知らせると土地の買い占めが起こるから」などの理由で、情報を出そうとしませんでした。騒音対策も不充分でした。これに反発した住民側が、ヨーロッパで一般的になりつつあった環境評価（アセスメント）の知識を得るなどして対抗し、互いに不信感を募らせたまま交渉していたのです。

双方が次第に互いの主張に耳を傾けるようになった結果、東北・上越新幹線は対策が前進し、東海道新幹線よりはるかに振動や騒音が小さくなりました。建設に時間と費用はかかりましたが、高架の柱は太くて地中でつながっていますし、鉄橋もより頑丈に作られています。「ルールに従って正しく争う」ことで多くの問題が解決し、その経験が次に活かされるということを、私自身も体験的に学ぶことができました。「正しく争える社会こそが成熟した社会」という考え方は、日本でも次第に認められつつあるように思います。

今、市民には住民投票や株主代表訴訟といった権利の行使の方法があります。社会的な活動に取り組む団体が法人格を持てるNPO法人（特定非営利活動法人）の制度もできました。国内外の情報の入手も容易になり、市民は問題が起こってから立ち上がるのではなく、問題を未然に防いだり、自ら政策を提言したりできる存在になったのです。

さらには、環境に配慮した事業を新たに起こすこともできます。2001年に始まった「生活クラブ生協・北海道」を母体とする風力発電事業は、その典型的な例です。原子力発電に疑問を抱く人々などが、寄付ではなく出資という形で1億5000万円もの資金を集めて始めました。「市民風車」と呼ばれるこの活動は、実は私の提案をきっかけとして生まれたものです。宮城県では風の強い場所が少ないために実現できていませんが、研究者と市民とが力を合わせて作り上げたビジネスモデルとして、今後さらに広がる可能性があると思っています。

地域での学び、そして行動へ

雪道用のタイヤが道路を削る宮城県のスパイクタイヤ粉塵問題は、市民的な運動の広がりで公害問題を解決できた数少ない例です。1985年、全国に先駆けて「宮城県スパイクタイヤ対策条例」が公布されたことは、もっと誇って良いと思います。

しかしスパイクタイヤ問題が、問題も成果も目に見えやすかったのに対して、今大きな話題になっている地球温暖化問題は、危機的状況も、行動による成果も「目に見えにくい問題」です。私は「ストップ温暖化センターみやぎ」のセンター長を務めていますが、この問題の解決のためには、個々の地域での取り組みも重要であると考えています。

特に農村部は、都市部に比べて温暖化問題との関わりを実感しやすいのではないでしょうか。氣候の変動によって、作物の商品価値が激しく変動したり、新たな病害虫の被害が発生したりすることがあります。しかも地域の森を守ることも、地球温暖化を止めることにつながります。農村の人々が、自然保護や環境保全に積極的に取り組むことで、都市住民に対して「時代の先進地」をアピールすることができる時代になったのです。

塩竈の港湾地域には多くの水産加工場があります。かまぼこを作るのに使った廃食油は、かつてはお金を払って業者に引き取ってもらっていました。しかし今では「塩釜市団地水産加工業協同組合」が自ら回収し、自動車用の燃料に再生して使っています。この取り組みは宮城県知事賞に輝くとともに、昨年度の「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」の全国大会でバイオマス賞を獲得し、大きな反響を呼びました。

「ストップ温暖化センターみやぎ」では、県の指定をうけて市民有志を募って地球温暖化防止活動のための推進員を養成しています。研修の内容は本格的です。現在は県内でおよそ90名の推進員が活躍していますが、メンバーは50代後半から60代前半の男性が多く、エネルギーや電機関係の仕事の方が目立ちます。熱心に学び、子どもたちや地域の人々に正しい知識を伝えることにやりがいを感じてくださっている姿は頼もしい限りです。

社会人経験、子育て経験を持つ方々が再び学び、得た知識を社会貢献活動に活かしていくというのは素晴らしいことだと思います。私たちのセンターの活動にとどまらず、地域に学びの場が広がり、学ぶ人が増え、さらにはそれが行動の変化に結びついていくことを強く願っています。

（取材＝2008年5月27日／東北大学文科系合同研究棟201号室にて）

東北大学大学院文学研究科教授　専攻・環境社会学

長谷川　公一 先生

《プロフィール》
（はせがわ・こういち）1954年山形県生まれ。東京大学文学部卒業。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。東北大学教養部助教授などを経て現職。社会学博士。環境社会学会会長。財団法人MELON（みやぎ・環境とくらし・ネットワーク）理事長。

懸賞　図書カードを当てよう！　**まなびめクイズ**

正解者の中から抽選で3名様に図書カード1000円分をプレゼント

Q.1　宮城県などで深刻化し、全国に先駆けて対策がとられた公害問題は？

※応募にはQ1とQ2両方の答えが必要です。北條祥子先生の記事もご覧下さい。

応募方法　ハガキ、FAX、E-mailのいずれかで、①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥クイズの答え２つ、⑦内容についての感想を添えて編集部（最終頁参照）までご応募下さい。
※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいた個人情報は連絡・発送作業にのみ使用いたします。

【応募締切】2008年8月20日 当日消印有効

学びの庭におじゃまします

今回お二人目の先生は、
環境問題に女性の視点・生活者の視点でアプローチする、
尚絅学院大学総合人間科学部生活環境学科の北條祥子先生です。

“母乳”から考えはじめた「健康と環境」

環境の専門知識を持つ若者を育てる

私が籍を置いている生活環境学科は、時代の要請に応えて昨年度設置されました。かつての環境問題は特定の発生源が存在するケースがほとんどでしたが、現在では、私たちの日常生活から排出される物質が環境に大きな負荷を与えています。環境の悪化に歯止めをかけるためには、そのメカニズムを追求するだけでなく、自らの生活を改める必要があるのです。

私たちの便利で豊かな生活は、地球温暖化をはじめ様々な環境問題を引き起こし、その影響が異常氣象などとして大きな被害として自分たちに戻ってきます。私たちは、自分が被害者であると同時に加害者にもなってしまっていることを自覚しなければなりません。しかし、そのことは自覚しにくいのも事実です。環境問題をいろいろな角度から広く勉強し、自分たちの問題として解決法を考えるためのツールとして「eco検定」（東京商工会議所）があります。そこで、私の学科では、学生たちに受検するよう指導しています。

今社会では、環境問題について正確な知識を持ち、率先してその解決に取り組むことのできる人材、そして環境と経済が両立しうる「持続可能な社会」づくりに貢献できる人材が求められています。私たちは、まさにそうした若者たちを育成しようとしているのです。

尚絅学院大学総合人間科学部生活環境学科教授　専攻･環境医学

北條　祥子 先生

暮らしの中には環境汚染物質がいっぱい

研究面では、私は、環境と健康の関わりを研究する環境医学を専攻しています。臨床環境医学会に所属しており、アレルギー疾患、シックハウス症候群・化学物質過敏症などの健康障害の発症要因などの研究をしています。

花粉症患者は、この20年間で7倍に増えたと言われています。アレルギーは遺伝要因と環境要因が大きいと言われていますが、遺伝要因が短時間で変化するはずがありませんので、環境要因が大きいと考えざるをえません。どんな環境要因でしょうか？“花粉症の有症率は杉の木が多い田舎より、都会の方が高い”という事実が一つのヒントになります。車の排ガス汚染、ストレス、残留農薬や食品添加物などの食品汚染などいろいろの要因が複雑に影響しあって杉花粉症を発症しやすくすると考えられています。従って杉花粉症を治すためには、杉花粉を避けるだけでなく、生活環境を改善し、規則正しい生活をして免疫力を高めることも大事です。

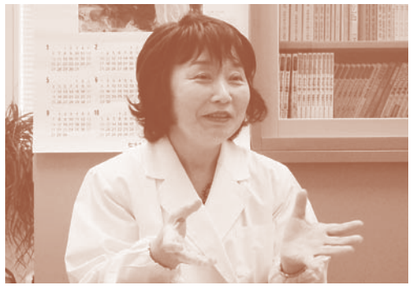
人の体には、異物に対する許容量があります。コップをイメージしていただければ分かりやすいのですが、その大きさは人それぞれです。体に良くないものがたまって限界に達しているところに、季節が巡って杉花粉が加わることで発症しやすいのです。

まずは、有害と思われる環境要因を一つ一つ生活から取り除いていくことが大切だと言うことができます。

このように、環境問題は地球規模の大きな問題であると同時に、衣食住という日々の暮らしの問題でもあるのです。衣服について言えば、私たちの学科の学生たちは、たとえば親がもう着なくなった洋服に手を入れてリサイクルファッションを楽しむという授業を通じて、限りある資源を大切にすることの意味を学びます。

住居についてはどうでしょう。私は、建材などに含まれるホルムアルデヒドなどの化学物質が、住む人の健康障害を起こす「シックハウス症候群」の問題に長く携わってきました。

《プロフィール》
（ほうじょう・さちこ）長野県生まれ。1967年、東北大学医学部薬学科卒業後、東北大学で生化学・免疫学の研究・教育に従事、その間、米国国立衛生研究所（NIH）に留学。1993年尚絅女学院短期大学教授（2003年より尚絅学院大学）。医学博士。歯学博士。東京大学大学院医学系研究科客員研究員兼任。



シックハウス症候群の発症要因は必ずしも建材ばかりでなく、シロアリ駆除剤、芳香剤、農薬・殺虫剤などさまざまな身近な化学物質が微量で影響すると考えられています。

「シックハウス症候群」は2年前からは検査や治療に健康保険の適用を受けられるようになりました。ただし、医師が診断するためのマニュアルはまだ確立していません。そこで、厚生労働省では「シックハウス病態解明研究検討委員会」を発足させ、今年度中に作成する予定です。私はその検討委員会の一員としてマニュアルづくりを行っている最中です。

それでも、家を新築する際にコストだけでなく環境や健康のことを考えて少し高くても安全な素材を選んだり、省エネに配慮した住宅を選択する人は確実に増えています。特に、女性が情報を集めて行動するようになったのはうれしいことです。一般に、男性は経済性や効率性を最優先する傾向がありますが、女性は経済性より、環境や子どもの健康の方を優先に考える人が多いです。私も、アトピー性皮膚炎で苦しんでいる孫のためにも、できることをしたいと強く思います。そこで、これからも女性の視点、生活者の視点で研究を進め、発言していきたいと考えています。

興味・関心が「学び」の入り口

私は、東北大学の職場保育所に子供をあずけ、昼休みは子どもに母乳をやりに行きながら、苦労して二人の子どもを母乳で育てました。大変でしたがそれをやりぬきました。それは母乳は子どもの発育にとってかけがいのないものだとの信念があったからです。“その母乳がダイオキシン汚染されているから、ミルクに変えよう”といった声が起こった時、“その解決はおかしい”と、『よくわかる環境ホルモンの話』（合同出版）という本を出版しました。本の反響は大きく、私は青森から岡山まで全国約50地域の250カ所から講演に呼ばれました。

多くの女性が、自分の子供の健康を案じ、一般の方にはなじみのない環境ホルモンという専門用語を懸命に理解しようとする姿に、強く胸をうたれたことを思い出します。10年前のことです。しかし、問題は解決していないのに、今では、環境ホルモンという言葉さえ、忘れ去られています。これでいいのでしょうか？

環境問題が叫ばれる今の時代の子育てに大きな不安を抱いていらっしゃるかもしれません。ことに、これから出産する方や小さなお子さんがいらっしゃる方や子どもにアレルギー症状が出ているような場合は、なおのことです。もしも私がそうした方から相談を受けたら、「ご自分が悩んだり関心を持っていることから逃げず、本を読んだり、講演会に出席するなどして勉強して、問題解決のために何ができるか考え、できることから実行なさってみてください」とお答えしたいと思います。環境問題の解決は、「こうしなければならない」「こうするべきだ」ということはありません。例えば買い物の際に不要な包装を断ることも、大きく考えればゴミを出さないことで環境への負荷を減らし、環境汚染を減らし、ご自分のお子さんの健康を守ることにつながると思います。

食生活では、表示をみて、できるだけ着色料や添加物の入らない食品を選ぶこと。地産地消、旬のものをおいしくいただくこと。必要のないものを買わないこと。自動車にばかり乗らず、自転車に乗ったり歩くこと、歩けば、バス代も節約できるし、四季折々の草花を楽しめます。環境問題解決は楽しいことも多いのです。肩の力を抜いて、無理なく、楽しみながら少しずつ自分の生活と価値観を地球にやさしくなるように転換することができれば、その分だけ間違いなく環境問題の解決に近づくことになるのです。

（取材＝2008年5月30日／尚絅学院大学1号館 北條研究室にて）

懸賞

図書カードを当てよう！
まなびめクイズ

正解者の中から抽選で3名様に
図書カード1000円分をプレゼント

Q.2　新築の住居などで起こる頭痛･湿疹などの体調不良の呼び名は何症候群？

※応募にはQ1とQ2両方の答えが必要です。長谷川公一先生の記事もご覧下さい。

応募方法
ハガキ、FAX、E-mailのいずれかで、①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥クイズの答え２つ、⑦内容についての感想を添えて編集部（最終頁参照）までご応募下さい。
※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいた個人情報は連絡・発送作業にのみ使用いたします。

【応募締切】2008年8月20日 当日消印有効